宝源氏
胡蝶君
廿一篇上
廿一篇下

14
3157
52
(41)

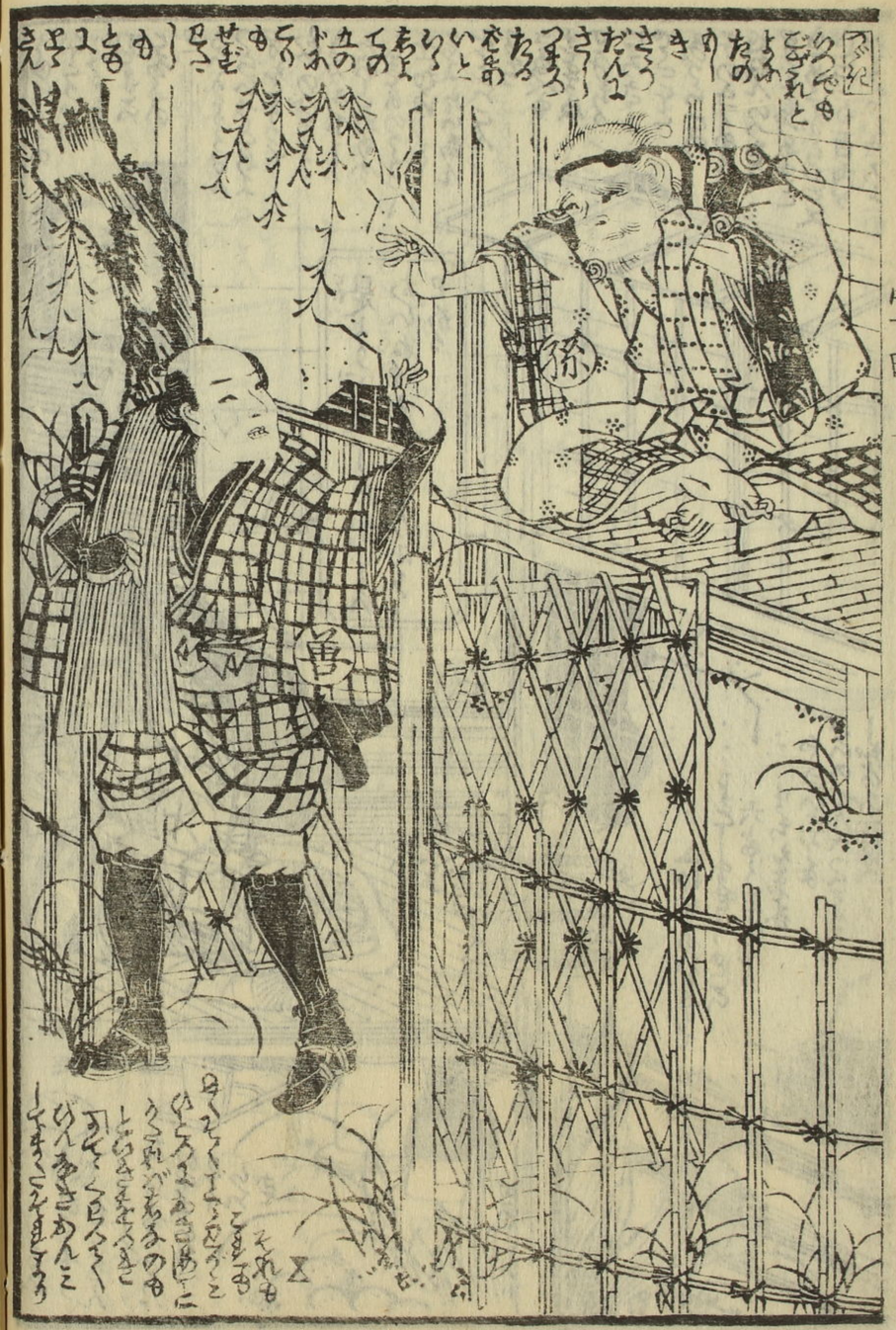
八百善で出す魚類とて。異し濱より揚るにはあらねど風味別ある如くに思ふは全く暖簾の徳なるべしと。いふ人ありしが左ふにあらずぞ調理の精巧余所他に倍せし所のあらでやく止まん。合巻も近年は紅英堂の梓にあらねば。肴官が愛ならば是しも暖簾の徳といひ。刻成迫の主人が丹情。余所の書肆とは大に異なり故に此史の如く拙きの中の拙作に魚で申さば二日賣されど仕立の割意に。他家の及ぬ所あれば配りの雜が賣切を断る程の事とて聞隨に此編前編の豆ぬを補ひ。山谷の事を專ら記せしより。山谷といふ字に八百善を思ひ寄まゝ此席となりしより

柳亭一白翁

乙骨細次郎
廣沼信濃
義忠太

鳴花園の秋津

是より下も五丁の画なるべ
おいぬがものがくろふ


孫
兎

犬

ひきさらよとゆぶたのあるどころでござる
百両のかねをくだされてくだされ
さてもひどい十郎ズク

助太郎

柳蔭月朝妻　十編　大尾　山々亭有人作　梅朝樓國貞画

藪黄鸝八幡不知　十編　大尾　山々亭有人作　錦朝樓芳虎画

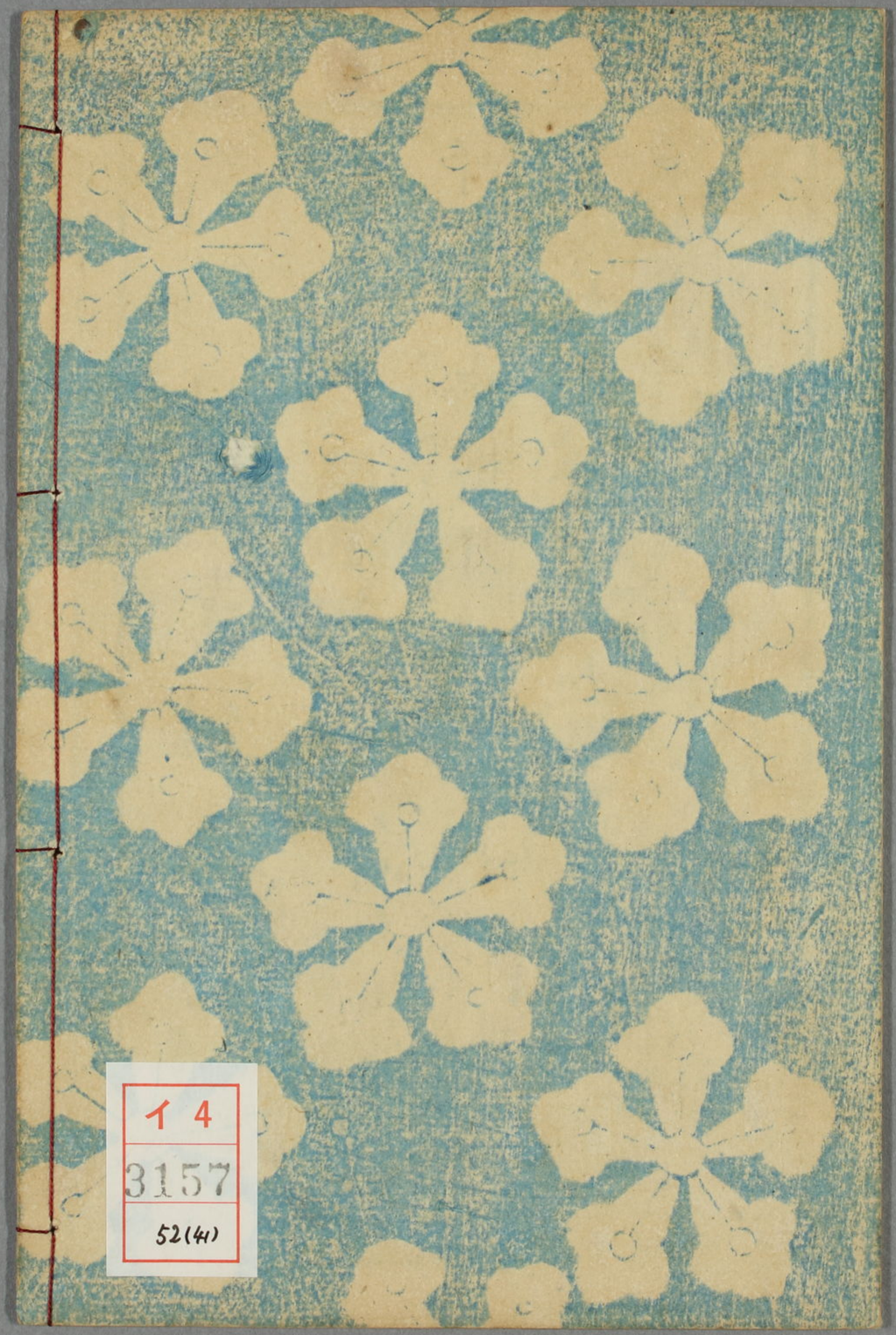
阿玉ヶ池櫛月形　五編　大尾　爲永春水作　梅堂國爰画

八犬傳犬の双紙　六十　大尾　柳亭作　國政画

小學行儀法　全一冊

實母散

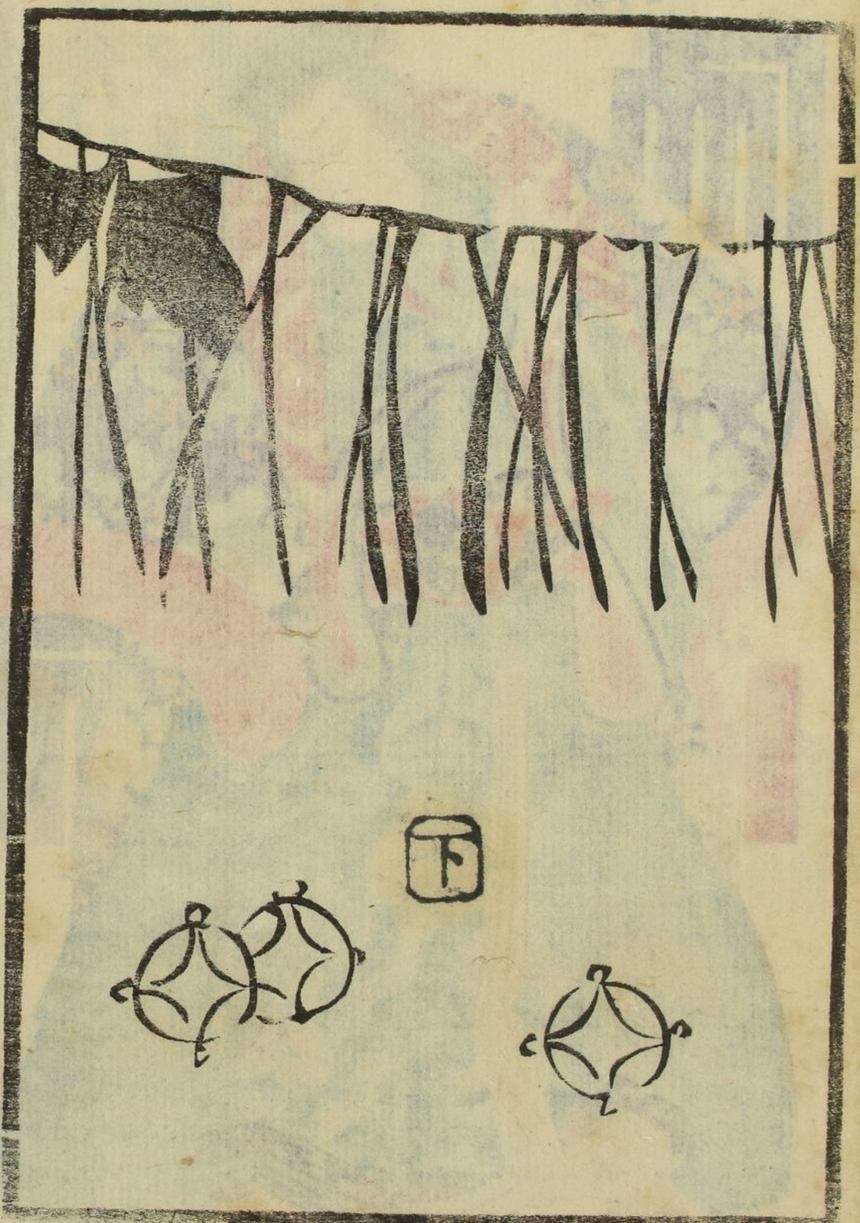
さんぜんさんご　中橋南傳馬町東側　ふドんちのみち　千葉堂孝料製


イ 4
3157
52(41)

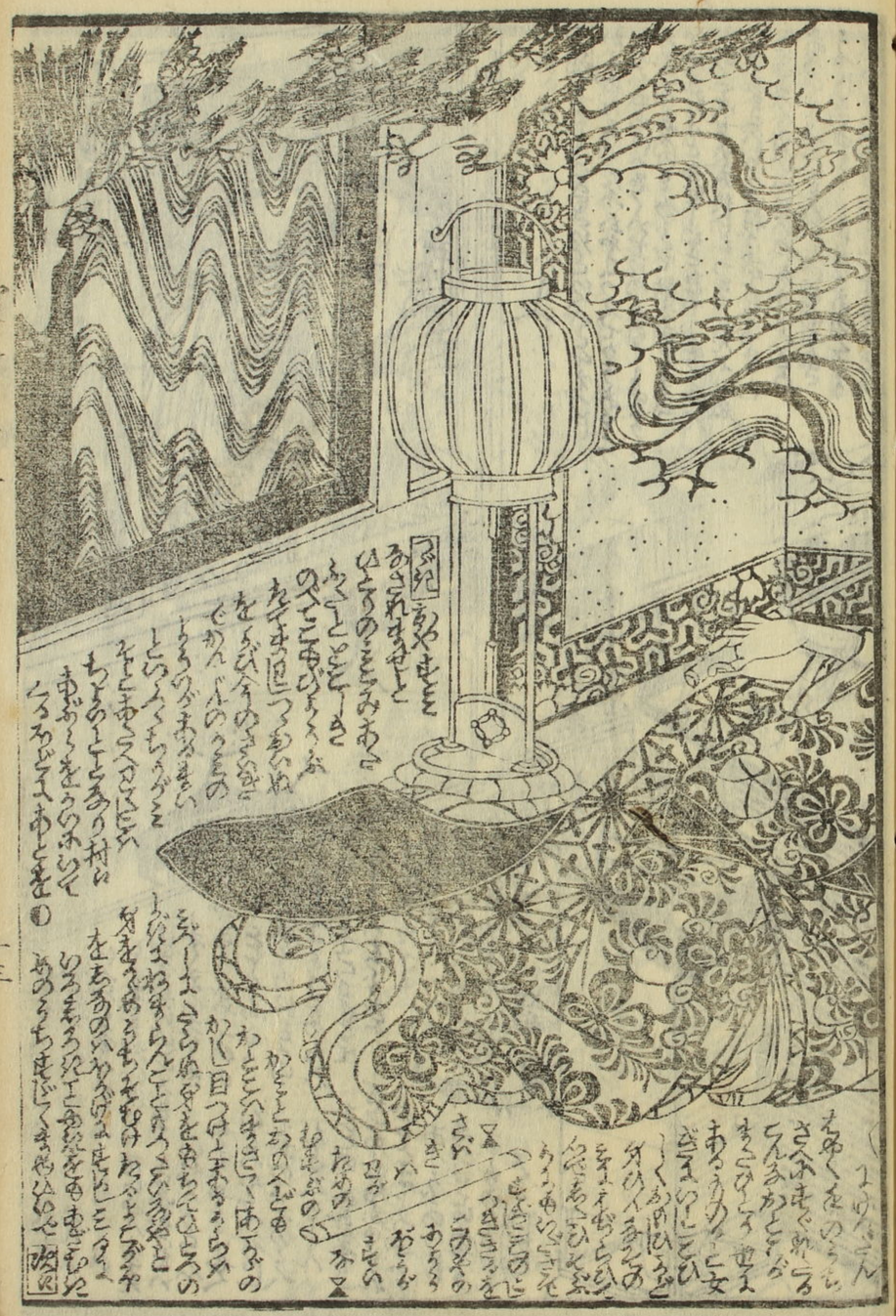
國
種

14
3157
52
(42)

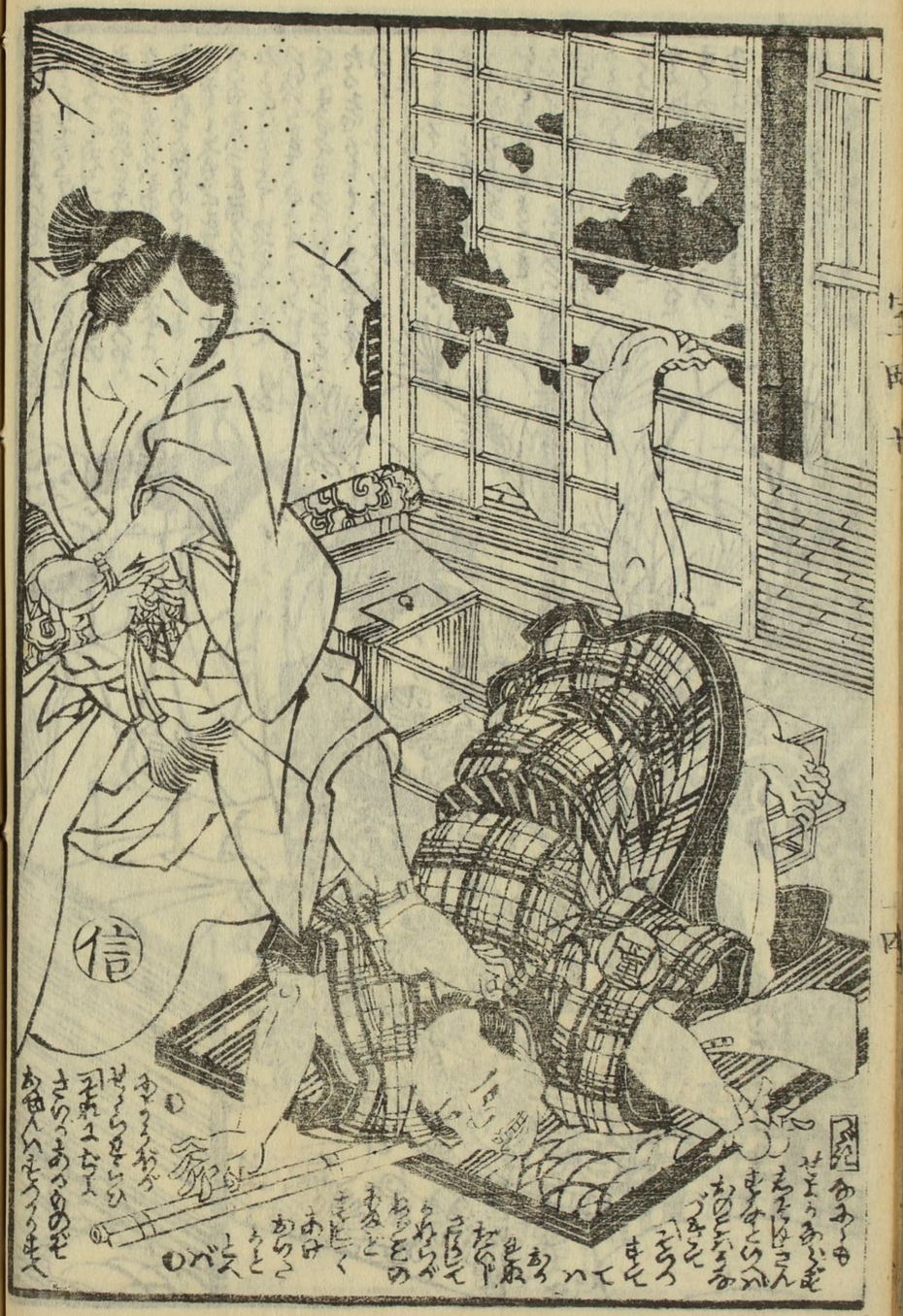
三

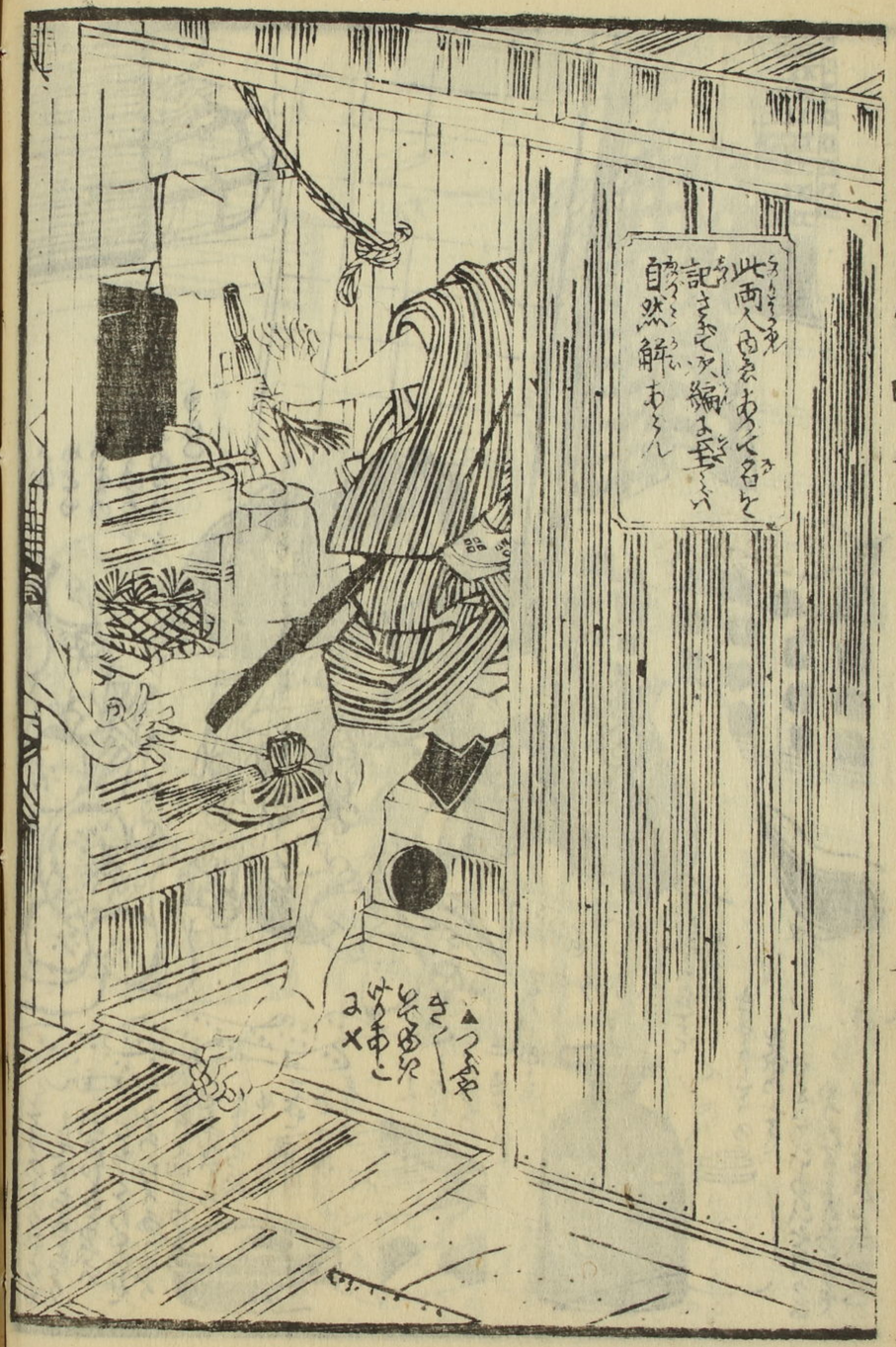


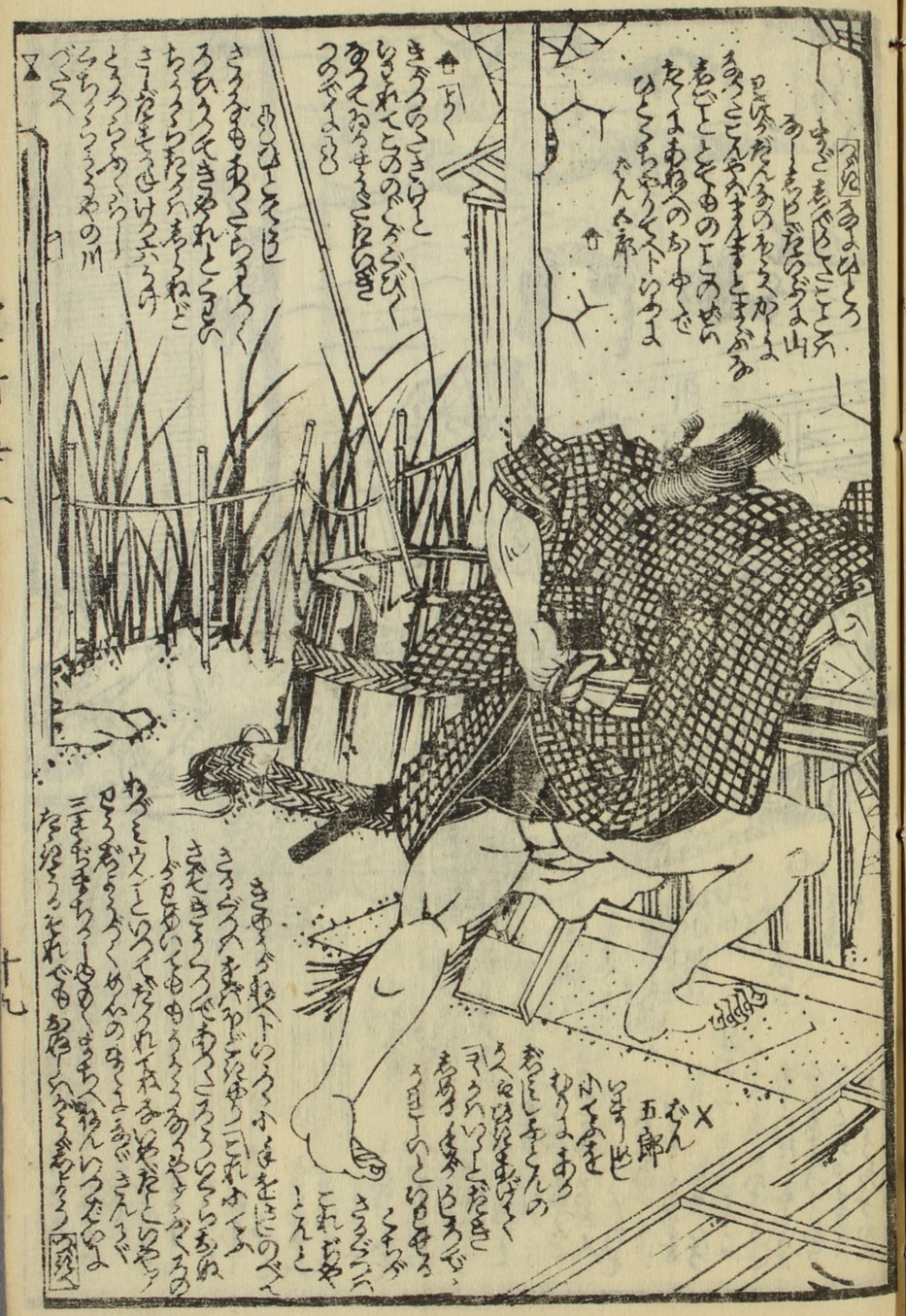
下



信


信


此両人内意あつて名を
記さずて次編に至らば
自然解あらん



柳亭綴
國貞画

厚化粧萬年嶋田 廿編 春水作 大尾 國貞画

新局九尾傳 廿編 春水作 大尾 國貞画

室町源氏胡蝶巻 三十編 種彦作 大尾 國貞画

筆海四國聞書 十五編 種彦作 大尾 國貞画

鼠祠通夜譚 十編 種彦作 大尾 國貞画

明鴉墨画廼禰襠 廿編 種彦作 大尾 國貞画

童謡妙々車 三十編 種彦作 大尾 國貞画

花封菩玉章 十編 種彦作 大尾 國貞画

薄俤幼日記 三十編 春水作 大尾 國貞画

七姉子葛飾譚 十五 種彦作 大尾 國貞画

京橋區南傳馬町壹丁目二番地
出板人 林吉藏

1 4
3157
52(42)